

山形県中学生バスケットボール選手権大会決勝大会 白鷹中学校男子バスケットボール部が優勝

山形県中学生バスケットボール選手権大会決勝大会が1月16日と17日に開催され、白鷹中学校男子バスケットボール部が見事優勝を果たしました。

白鷹中学校は予選リーグを組1位で通過すると、決勝トーナメントを順当に勝ち上がり、決勝戦では上山南中学校を相手に56対46で勝利。置賜の中学校バスケットボールの歴史にその名を刻みました。蹄翔太主将は「年末年始に出場した大会で、全国レベル・東北レベルの戦いを経験したことがプレーに生きた」と勝利の要因を話し、「今日の結果を目標である全国大会への第一歩と考え、ここでとどまることなくこれからも練習に励んでいきたい」とチームのさらなる躍進を誓いました。



置賜地区ソフトボール技術講習会 目指すは全国！そしてその先へ

1月10日、11日の2日間にわたり、ソフトボール技術講習会実行委員会の主催による「置賜地区ソフトボール技術講習会」が開催されました。

この講習会は、平成29年度に山形県で開催される全国高校総体に向け、ソフトボール競技における投手、守備、打者の基礎から応用技術、練習方法を習得することを目的としたもの。白鷹町及び長井市が競技会場となることから、この日は荒砥高校、長井高校、長井工業高校、そして白鷹町出身選手の所属する米沢中央高校、さらには白鷹中学校から合わせて約50人が参加。選手たちは、ボールの投げ方、バッティング、体幹トレーニングなど、講師の先生から細かい部分まで指導を受けながら、何度も自分の動きを確認していました。米沢中央高校ソフトボール部に所属する今野りおさん（白鷹西中出身）と青木菜々さん（白鷹東中出身）は、「地元の皆さんに成長している姿を見せたい」「中学校のときから練習や試合で使ってきた馴染みの場所なので、絶対に出場したい」と熱い気持ちを言葉にしました。



信じよう。スポーツの力を。



©©©© BIG toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。